

本時のねらい

- ・アルファベットの発音を繰り返し練習し、身につける。
- ・聞こえたアルファベットはどれかについて答えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・YouTube に上がっているフォニックスの動画を使い、繰り返し発音を練習する。
- ・ネットレシ小学英語(https://nll.red/index_englishS.html)を使って、リスニングの力をつけるとともに発音練習したことをアウトプットする。

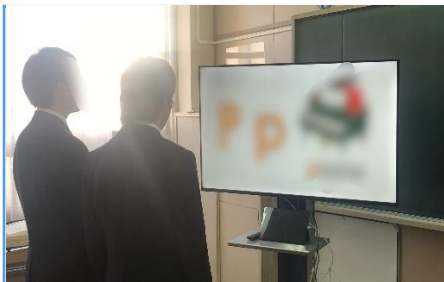
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ YouTube
- ・ ネットレシ小学英語
- ・ OneNote (Microsoft)

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|--------------|---|---|
| 導入 (15分) | ・動画から流れる音と同時に発音を行う。【写真1】 | ・流暢な発音を聞き、真似して練習する。同じように発音することを意識する。 |
| 展開 (25分) | ・ネットレシ小学英語を使って、アルファベット、簡単な英単語の発音を聞いて、答えがどれかを答える。【写真2】 | ・導入で練習したことをアウトプットする。 |
| まとめ (10分) | ・OneNote を使い、アルファベットを書く問題に取り組む。【写真3】 | ・鉛筆で書くより、タブレットで書く方がこの学習者の特性としてあっているため、OneNote に問題を配付する。 |

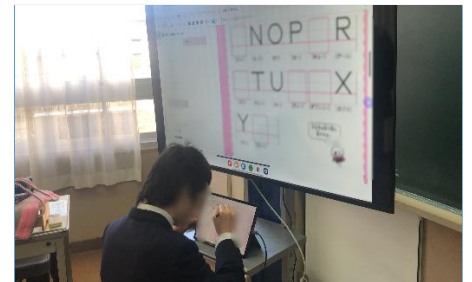
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】テレビから聞こえてくる音に合わせて発音を行っている。



【写真2】タブレットを使い、聞こえてきたアルファベットはどれかを答えている。



【写真3】OneNote でアルファベットの問題を配付し、その問題に取り組んでいる。

児童生徒の反応や変容

当初は英語に対して苦手意識を持っていた。しかし、授業で練習していくうちに、徐々に苦手意識も薄れてきた。発音練習では、最初はあまり複数回練習することが難しかったが、少しずつ複数回練習できるようになった。今では、毎回自分で練習する回数を決め、その回数取り組むことができるようになった。

聞こえてきたアルファベットを答える取り組みは、音が似ているものは聞き分けが難しいところがある。そのほかのアルファベットに関しては聞いてすぐに答えることができるようになってきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

書くことよりも、聞くことと読むことを多く学習に取り入れることで、たくさん英語に触れようと考えた。発音に関しては、ネット上を探すと流暢に発音されているものがたくさんある。それを聞いて真似をすることから始めた。何回も繰り返し行ってきた結果、当初に比べて発音も上手になってきた。また、英語に対して意欲的に取り組むようになってきた。生徒のできることから英語にたくさん触れることで、少しずつ意欲が上がっていくのかなと思う。